

〔別 紙〕

様式 1

## 事業報告書

(自 令和3年4月1日 至 令和4年3月31日)

## 1 医療法人の概要

- (1) 名 称 社会医療法人 北九州病院
- ① ☐ 財団 ☒ 社団 ( ☒ 出資持分なし ☐ 出資持分あり )
- ② ☒ 社会医療法人 ☐ 特定医療法人 ☐ 出資額限度法人
- ☐ その他
- ③ ☐ 基金制度採用 ☒ 基金制度不採用
- (2) 事務所の所在地 福岡県北九州市小倉北区室町三丁目1番2号
- (3) 設立認可年月日 昭和31年3月31日
- (4) 設立登記年月日 昭和31年4月14日
- (5) 役員及び評議員

	氏 名	備 考
理 事 長	佐多 竹良	
副理事長	野田 誠吾	
常務理事	猿渡 雅美	
理 事	別府 正之	
同	長竹 美義	
同	三宅 猛	
同	小松 眞	
同	林 卓哉	
同	大坪 昭則	
同	木村 広幸	
同	江崎 卓弘	北九州中央病院 管理者
同	宮崎 正之	北九州宗像中央病院 管理者
同	永田 直幹	北九州総合病院 管理者
同	坂田 久信	北九州八幡東病院 管理者 北九州八幡東病院 介護医療院 管理者
同	橋爪 誠	北九州古賀病院 管理者 北九州古賀病院 介護医療院 管理者
同	松村 潔	北九州若杉病院 管理者 北九州若杉病院 介護医療院 管理者
同	永島 明	北九州湯川病院 管理者 北九州湯川病院 介護医療院 管理者

同	原田 英二	北九州安部山公園病院 管理者 介護老人保健施設あけぼの苑 管理者
同	吉田 智治	北九州小倉病院 管理者
監 事	末松 茂	
同	村上 文男	

## 2 事業の概要

(1) 本来業務（開設する病院、診療所又は介護老人保健施設（医療法第42条の指定管理者として管理する病院等を含む。）の業務）

種 類	施設の名称	開 設 場 所	許可病床数
病院	北九州中央病院	福岡県北九州市小倉北区香春口 一丁目13番1号	一般病床 60床 療養病床 240床 [医療保険 240床]
病院	北九州宗像中央 病院	福岡県宗像市稲元二丁目2番 5号	一般病床 60床 療養病床 176床 [医療保険 176床]
病院	北九州総合病院	福岡県北九州市小倉北区東城野 町1番1号	一般病床 360床
病院	北九州八幡東病院	福岡県北九州市八幡東区西本町 二丁目1番17号	一般病床 201床 療養病床 226床 [医療保険 226床]
病院	北九州古賀病院	福岡県古賀市千鳥二丁目12番 1号	一般病床 120床 精神病床 93床 療養病床 261床 [医療保険 261床]
病院	北九州若杉病院	福岡県糟屋郡篠栗町大字田中 275番地	一般病床 177床 療養病床 60床 [医療保険 60床]
病院	北九州湯川病院	福岡県北九州市小倉南区湯川 五丁目10番10号	一般病床 60床 療養病床 162床 [医療保険 162床]
病院	北九州安部山公園 病院	福岡県北九州市小倉南区大字 湯川139番地の21	療養病床 160床 [医療保険 160床]
病院	北九州小倉病院	福岡県北九州市小倉北区上富野 三丁目19番1号	一般病床 77床 療養病床 120床 [医療保険 120床]
介護老人 保健施設	あけぼの苑	福岡県北九州市小倉南区大字 湯川139番地の21	入所定員 85名 通所定員 30名

介護医療院	北九州八幡東病院 介護医療院	福岡県北九州市八幡東区西本町 二丁目1番17号	入所定員 53名
介護医療院	北九州古賀病院 介護医療院	福岡県古賀市千鳥二丁目 12番1号	入所定員 120名
介護医療院	北九州若杉病院 介護医療院	福岡県糟屋郡篠栗町大字田中 275番地	入所定員 60名
介護医療院	北九州湯川病院 介護医療院	福岡県北九州市小倉南区湯川 五丁目10番10号	入所定員 96名

(2) 附帯業務（医療法人が行う医療法第42条各号に掲げる業務）

種類又は事業名	実施場所	備考
介護付有料老人ホーム ぬまみどり	福岡県北九州市小倉南区沼緑町 四丁目22番1号	

(3) 収益業務（社会医療法人又は医療法第42条の3第1項の認定を受けた医療法人が行うことができる業務）

種類	実施場所	備考
駐車場業	福岡県北九州市小倉南区葛原 一丁目3005-116	

(4) 当該会計年度内に社員総会又は評議員会で議決又は同意した事項

令和 3年 5月11日	理事、監事の選任についての決定
〃	次期経営会議委員の指名についての決定
〃	次期グループ経営会議委員の指名についての決定
令和 3年 5月27日	2020年度(令和2年度)決算の決定および積立金処理 についての決定
〃	社員総会議長選任についての決定
令和 4年 3月24日	2022年度(令和4年度)事業計画および予算についての決定
〃	2022年度(令和4年度)の借入金額の最高限度額についての 決定
〃	北九州中央病院院長選任についての決定
令和 4年 3月29日	管理者理事選任についての決定

(5) 当該会計年度内に開設（許可を含む）した主要な施設

なし

(6) 当該会計年度内に他の法律、通知等において指定された内容

なし

(7) その他

なし

## 様式第一号

法人名 社会医療法人 北九州病院

※医療法人整理番号

所在地 福岡県北九州市小倉北区室町三丁目1番2号

貸借対照表  
(令和4年3月31日現在)

(単位：千円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
I 流動資産	14,547,262	I 流動負債	6,133,520
現金及び預金	8,815,819	買掛金	831,046
事業未収金	5,427,103	短期借入金	490,000
たな卸資産	200,209	1年内返済予定長期借入金	1,681,424
前払費用	46,026	リース債務	10,361
その他の流動資産	78,280	未払金	100,911
貸倒引当金	△ 20,176	未払費用	1,105,927
		未払法人税等	4,833
		未払消費税等	23,367
II 固定資産	35,273,187	預り金	246,338
1 有形固定資産	33,033,080	賞与引当金	1,630,947
建物	18,197,647	その他の流動負債	8,363
構築物	808,476		
医療用器械備品	859,295	II 固定負債	16,676,764
その他の器械備品	503,439	長期借入金	11,979,558
土地	9,241,771	長期リース債務	41,241
建設仮勘定	3,422,449	長期未払金	4,149
		退職給付引当金	4,330,565
2 無形固定資産	1,078,636	資産除去債務	313,850
ソフトウェア	232,915	預り敷金	7,400
ソフトウェア仮勘定	5,599	負債合計	22,810,284
電話加入権	10,340		
のれん	829,782	純資産の部	
		科 目	金 額
3 その他の資産	1,161,469	I 積立金	27,008,846
投資有価証券	662,378	固定資産圧縮積立金	5,657
長期貸付金	17,183	繰越利益積立金	27,003,189
役員等長期貸付金	2,447		
長期前払費用	474,428	II 評価・換算差額等	1,318
その他の固定資産	5,032	その他有価証券評価差額金	1,318
資産合計	49,820,449	純資産合計	27,010,164
		負債・純資産合計	49,820,449

## 様式第二号

法人名 社会医療法人 北九州病院  
所在地 福岡県北九州市小倉北区室町三丁目1番2号

※医療法人整理番号

## 損 益 計 算 書

(自 令和 3年 4月 1日 至 令和 4年 3月 31日)

(単位：千円)

科 目	金 額	
I 事業損益		
A 本来業務事業損益		
1 事業収益		33,852,812
2 事業費用		
(1)事業費	30,518,712	
(2)本部費	722,372	31,241,084
本来業務事業利益		2,611,727
B 附帯業務事業損益		
1 事業収益		305,288
2 事業費用		299,020
附帯業務事業利益		6,268
C 収益業務事業損益		
1 事業収益		1,940
2 事業費用		777
収益業務事業利益		1,162
事業利益		2,619,158
II 事業外収益		
受取利息及び配当金	9,720	
補助金収入	21,529	31,249
III 事業外費用		
支払利息	154,095	
その他の事業外費用	12,738	166,833
経常利益		2,483,575
IV 特別利益		
固定資産受贈益	83,200	83,200
V 特別損失		
固定資産売却損	137,681	
固定資産除却損	17,951	
減損損失	213,183	368,816
税引前当期純利益		2,197,958
法人税、住民税及び事業税		4,833
当期純利益		2,193,125

## 様式第三号

法人名 社会医療法人 北九州病院  
所在地 福岡県北九州市小倉北区室町三丁目1番2号

※医療法人整理番号

財 産 目 録  
(令和4年3月31日現在)

1. 資 産 額	49,820,449 千円
2. 負 債 額	22,810,284 千円
3. 純 資 産 額	27,010,164 千円

(内 訳)

(単位：千円)

区 分	金 額
A 流 動 資 産	14,547,262
B 固 定 資 産	35,273,187
C 資 産 合 計 (A+B)	49,820,449
D 負 債 合 計	22,810,284
E 純 資 産 (C-D)	27,010,164

土地及び建物について、該当する欄の□を塗りつぶすこと。

土 地 (□ 法人所有 □ 賃借 ■ 部分的に法人所有(部分的に賃借))  
建 物 (■ 法人所有 □ 賃借 □ 部分的に法人所有(部分的に賃借))

法人名 社会医療法人 北九州病院  
所在地 福岡県北九州市小倉北区室町3丁目1-2

※医療法人整理番号

関係事業者との取引の状況に関する報告書

(1) 法人である関係事業者

種類	名称	所在地	総資産額 (千円)	事業の内容	関係事業者 との関係	取引の内容	取引金額 (千円)	科目	期末残高 (千円)
該当なし									

(取引条件及び取引条件の決定方針等)

(2) 個人である関係事業者

種類	氏名	職業	関係事業者 との関係	取引の内容	取引金額 (千円)	科目	期末残高 (千円)
該当なし							

(取引条件及び取引条件の決定方針等)

## 監事監査報告書

社会医療法人 北九州病院  
理事長 佐多 竹良 殿

私たちは、社会医療法人北九州病院の 令和3年会計年度（令和3年4月1日から令和4年3月31日まで）の業務及び財産の状況等について監査を行いました。その結果につき、以下のとおり報告いたします。

### 監査方法の概要

私たちは、理事会その他重要な会議に出席するほか、理事等からその職務の執行状況を聴取し、重要な決裁書類等を閲覧し、本部及び主要な施設において業務及び財産の状況を調査し、事業報告を求めました。また、事業報告書並びに会計帳簿等の調査を行い、計算書類、すなわち財産目録、貸借対照表及び損益計算書の監査を実施しました。

### 記

### 監査の結果

- (1) 事業報告書は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示していると認めます。
- (2) 会計帳簿は、記載すべき事項を正しく記載し、上記の計算書類の記載と合致しているものと認めます。
- (3) 計算書類は、法令及び定款に従い、損益及び財産の状況を正しく示しているものと認めます。
- (4) 理事の職務執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

令和4年5月24日

社会医療法人 北九州病院

監事

村上 文子

監事

末 恒 義



# 独立監査人の監査報告書

令和4年5月25日

社会医療法人北九州病院

理 事 会 御 中

有限責任監査法人トーマツ  
福岡事務所

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士

伊藤次男

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士

米本昌弘

## 監査意見

当監査法人は、医療法第51条第5項の規定に基づき、社会医療法人北九州病院の令和3年4月1日から令和4年3月31日までの令和3年度の貸借対照表、損益計算書、重要な会計方針及びその他の注記並びに財産目録（以下「計算書類」という。）について監査を行った。

当監査法人は、上記の計算書類が、全ての重要な点において厚生労働省令第95号（平成28年4月20日）において定められた医療法人会計基準及びこれに関連する医政局通知等に準拠して作成されているものと認める。

## 監査意見の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準における当監査法人の責任は、「計算書類の監査における監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、法人から独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

## その他の記載内容

その他の記載内容は、事業報告書、関係事業者との取引の状況に関する報告書、純資産変動計算書及び附属明細表である。理事者の責任は、その他の記載内容を作成し開示することにある。また、監事の責任は、その他の記載内容の報告プロセスの整備及び運用における理事の職務の執行を監視することにある。

当監査法人の計算書類に対する監査意見の対象にはその他の記載内容は含まれておらず、当監査法人はその他の記載内容に対して意見を表明するものではない。

計算書類の監査における当監査法人の責任は、その他の記載内容を通読し、通読の過程において、その他の記載内容と計算書類又は当監査法人が監査の過程で得た知識との間に重要な相違があるかどうか検討すること、また、そのような重要な相違以外にその他の記載内容に重要な誤りの兆候があるかどうか注意を払うことにある。

当監査法人は、実施した作業に基づき、その他の記載内容に重要な誤りがあると判断した場合には、その事実を報告することが求められている。

その他の記載内容に関して、当監査法人が報告すべき事項はない。

#### 計算書類に対する理事者及び監事の責任

理事者の責任は、厚生労働省令第95号（平成28年4月20日）において定められた医療法人会計基準及びこれに関連する医政局通知等に準拠して計算書類を作成することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない計算書類を作成するために理事者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

計算書類を作成するに当たり、理事者は、継続事業の前提に基づき計算書類を作成することが適切であるかどうかを評価し、厚生労働省令第95号（平成28年4月20日）において定められた医療法人会計基準及びこれに関連する医政局通知等に基づいて継続事業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

監事の責任は、財務報告プロセスの整備及び運用における理事の職務の執行を監視することにある。

#### 計算書類の監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した監査に基づいて、全体としての計算書類に不正又は誤謬による重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得て、監査報告書において独立の立場から計算書類に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、計算書類の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に従って、監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・ 不正又は誤謬による重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示リスクに対応した監査手続を立案し、実施する。監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。
- ・ 計算書類の監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、監査に関連する内部統制を検討する。
- ・ 理事者が採用した会計方針及びその適用方法の適切性、並びに理事者によって行われた会計上の見積りの合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。
- ・ 理事者が継続事業を前提として計算書類を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、継続事業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められるかどうか結論付ける。継続事業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、監査報告書において計算書類の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する計算書類の注記事項が適切でない場合は、計算書類に対して除外事項付意見を表明することが求められている。監査人の結論は、監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、法人は継続事業として存続できなくなる可能性がある。
- ・ 計算書類の表示及び注記事項が厚生労働省令第95号（平成28年4月20日）において定められた医療法人会計基準及びこれに関連する医政局通知等に準拠しているかどうかを評価する。

監査人は、監事に対して、計画した監査の範囲とその実施時期、監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む監査上の重要な発見事項、及び監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。

#### 利害関係

法人と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上